



GE Healthcare

PRESS RELEASE

2013年11月11日

GE ヘルスケア・ジャパン 穿刺用新型プローブ発売

ー肝がんの RFA 治療における正確性と安全性をさらに向上ー

医療課題の解決に取り組むヘルスケアカンパニー、GE ヘルスケア・ジャパン株式会社(本社:東京都日野市、代表取締役社長兼 CEO:川上潤)は、肝がんの RFA 治療(ラジオ波焼灼療法)などで使用する穿刺用新型プローブ「C2-6b-D プローブ」を、本日 11 月 11 日(月)より発売いたします。

アジアの疾患～肝臓疾患

肝がんは日本を含め、アジア・アフリカに多く欧米には少ない傾向にあり、アジアの患者数が世界の約 7 割以上を占めています。日本における肝がん死亡者(2011 年)は年間およそ 3 万人*1を超え、男女比は 7:3 で男性に多く、男性のがん死因の第 3 位、女性では第 6 位を占め、高齢化に伴い増加傾向にあります。

肝がんの治療法には、肝切除(肝移植)、穿刺療法(RFA、経皮的エタノール注入療法)、肝動脈塞栓術があります。超音波ナビゲーションを使用した早期肝がんの標準的な治療である RFA は、1995 年頃から欧米で開発され、日本では 1999 年頃から広く臨床使用されています。2004 年 4 月には、日本でも保険適用手術として認められ、肝細胞がんに対する標準的な治療として位置づけられています。

高画質とアプローチ性の良さを兼ね備えることで、より正確な施術が可能に

肝がんの RFA 治療は、広く超音波ガイド下で行われていますが、その際超音波診断装置の心臓部となり、画質や操作性能を大きく左右するのが超音波ビーム送受信のセンサーであるプローブです。日本では、ターゲットへのアプローチ性を重視するため形状が小さいマイクロコンバックスタイプが主流となっていますが、画質および穿刺時のブラインドの発生が課題とされてきました。

「C2-6b-D プローブ」では、広帯域でかつコンバックスタイプを採用することで高画質を実現、また、患者との接地面の一部に針を通すためのスリットを入れることで、ターゲットとなる部位への高いアプローチ性を持たせるとともに穿刺時のブラインドを少なくすることに寄与します。画像の質を高めブラインドを少なくすることで、穿刺ルートへの脈管や消化管の入り込みなどを画像で確認でき、施術時のリスクを低減し、「人にやさしい医療」の提供を目指します。

安全性、効率性を向上させるディスプレイニードルガイドアタッチメントや Fusion 機能・造影機能を搭載

針を固定するニードルガイドを滅菌ディスプレイニードルガイド仕様としており、清潔かつ一日に複数回の使用が可能な施術環境を実現させたほか、CT、MR などと同期した表示が可能な Fusion 機能や、超音波造影で用いられる造影剤「ソナゾイド®」を感知する造影機能などを採用し、手技の安全性や効率性、正確性を向上させる機能を搭載しました。

「C2-6b-D プローブ」を搭載する汎用超音波診断装置「LOGIQ S8」について

「C2-6b-D プローブ」は、汎用超音波診断装置「LOGIQ S8」に装着させて使用いただく穿刺用プローブです。「LOGIQ S8」は、肝疾患診断向けの機能を充実させた小型軽量モデルで、GE のヘルスケアに関する世界戦略「ヘルシーマジネーション (healthymagination)」の重点分野のひとつである「地域に適した技術開発」の一環として、日本人の身体的特徴に合わせて画像の最適化が施されています。

GE ヘルスケア・ジャパンの肝臓疾患への取り組み

GE ヘルスケア・ジャパンは、GE の世界戦略「ヘルシーマジネーション」のもと、世界に先駆けて日本が直面する超高齢社会の到来に伴いニーズが高まる分野に対して、トータルに製品やソリューションを提供していく Care Area Focus を戦略に掲げて「地域に適した技術開発」を進めています。肝がん患者の世界分布ではアジアが約 7 割強を占めており、日本でも多くの患者がいることから、肝臓疾患への対策を重要課題と捉え、日本から世界へのソリューションを発信しています。今回の「C2-6b-D プローブ」の発売により、より安全でより正確な肝がん治療をサポートします。



C2-6b-D プローブ



穿刺角度 画像表示例

製品名(薬事販売名): C2-6b プローブ
発 売 日: 2013年11月11日
医療機器認証番号: 225ABBZX00072000
初年度国内販売目標: 60本

*1: 出典:公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計 2012」(2011 年中に肝臓がんで死亡した人:31,875 人)

本資料に記載された装置の製品名／薬事販売名／医療機器認証・承認番号は以下の通り

汎用超音波画像診断装置 LOGIQ S8
医療機器認証番号 222ABBZX00199000号
製造販売 GEヘルスケア・ジャパン株式会社
LOGIQはゼネラルエレクトロニクス社の登録商標です。

C2-6b プローブ
医療機器認証番号 225ABBZX00072000号
製造販売 パナソニックヘルスケア株式会社

シブコIntegratedニードルガイド
医療機器認証番号 225AFBZX00128000号
製造販売 センチュリーメディカル株式会社

シブコプローブカバー／バイオプシーニードルガイドセット
医療機器承認番号 21200BZY00226000号
製造販売 センチュリーメディカル株式会社

ソナゾイドー注射用 16μL
薬事承認番号 22000AMX01571
製造販売 第一三共株式会社
『ソナゾイドR』はジーイー・ヘルスケア・アクスイエ・セルスカブ (GE Healthcare AS) が所有する登録商標です。』

GEヘルスケア・ジャパンについて

GEヘルスケア・ジャパン株式会社は、世界が直面する困難な課題解決に取り組むGEヘルスケアの中核拠点の1つとして、1982年に設立されました。国内に開発、製造から販売、サービス部門までを持ち、日本のお客様のニーズにお応えする、先進的な医療技術ならびに医療・研究機関向けの各種サービスをお届けしています。CTやMRI、超音波診断装置などの医療用画像診断から、体内診断薬、細胞解析装置などのライフサイエンス(生命科学)まで幅広い分野にわたる専門性を駆使しながら、GEの世界戦略「ヘルシーマジネーション」で掲げる「医療コストの削減」「医療アクセスの拡大」「医療の質の向上」の実現を目指します。2013年4月1日現在の社員数は2,100名、国内の事業所数は55カ所。

ホームページアドレスは www.gehealthcare.co.jp

(ライフサイエンス統括本部: www.gelifesciences.co.jp)

<お問い合わせ先>

GEヘルスケア・ジャパン(株) コミュニケーション本部 ブランチャード／松井

Tel: 0120-202-021